

経営者への活きた言葉

経営とは想定外をなくすことと矛盾を解決すること 飯田 亮(セコム創業者、現最高顧問)

1. 経営というのは、想定外をつぶしていく作業です。「そこまでやってできなきゃ仕方がない」と淡泊に考えるか、想定外をつぶすためにエネルギーを注ぎ込むか、それが企業の成否を分ける。その時に必要なのは想像力です。想像力というのは、思考の粘着性から生まれてくると考えます。あきらめずに考え抜く。その粘着性が想定外の領域をつぶし、新しいビジネスを生み出していく。
2. もう一つ経営は矛盾の固まりです。社会のためにきちりとシステムを作るとコストがかかる。ただ、営利企業なので利潤も上げなければならない。こういう社会的コストと利潤という相矛盾するものを解決するところに経営はあります。
3. 私が1962年に会社を立ち上げた時、最も強く感じたのは矛盾をどうやって打ち消すか、ということだった。そのうちに矛盾を調整し、打ち消していくという作業そのものが経営だと感じるようになりました。そういう作業を繰り返すうちに、矛盾というものが不思議ではなくなってきました。逆に、矛盾がなければ経営が面白くも何も無い。想定外をなくすことと矛盾を解決すること。これが経営の醍醐味でしょう。

(参考:「日経ビジネス」2011年6月6日号)

経営者のための理念・哲学

朝倉家の高い理念 榎文彦(建築家)

1. 東京の代官山の旧山手通り沿いにあるヒルサイドテラスは、地主であり、施主でもある朝倉家との何十年もお付き合いの中で、少しずつ造り上げてきたものです。朝倉家はずっと代官山に住んでいて、自分たちが住んでいる街をよくしたいという思いがあります。
2. ヒルサイドテラスには、ギャラリーやコンサートホールなど文化施設も造りました。そして、「見る」「聴く」以外に、「読む」施設も必要だろうということで、ショップがあった場所に図書室も造った。ショップが入っていれば賃料が入るわけですが、目先の利益を追うのではなく、住みやすい街にしたい、という思いの強さを感じました。

(参考:「週刊東洋経済」: 2011年6月11日号)